機械器具（21）内臓機能検査用器具

管理医療機器　特定保守管理医療機器　脳波計　11467010

「脳波計　EEG-1000シリーズ　ニューロファックス」の付属品

中継ボックス（AE-101A）

禁忌・禁止

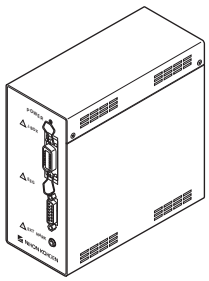
併用医療機器[相互作用の項参照]

- 高圧酸素治療装置内での使用
- 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用

形状・構造および原理等

本装置は、脳波計EEG-1000シリーズと多チャネル電極接続箱JE-207A/209A/212Aの間に設置し、多チャネル電極接続箱への電源供給と信号の中継を行います。
付属の延長ケーブルにより、本装置と脳波計の間を50mまで延長します。また、本装置にマーカコードを接続して脳波計にマーカ信号を出力することができます。

外観



適用機種

脳波計：EEG-1000シリーズ ニューロファックス
（承認番号：21000BZZ00604000）
多チャネル電極接続箱：JE-207A、JE-209A、JE-212A

構成品一覧

名　称	個　数
本体	1
付属品	1式

- 付属品の詳細については、AE-101A取扱説明書の「付属品」を参照してください。

寸法・質量

寸法　W75mm×H170mm×D170mm
質量　約2.8kg

使用目的、効能または効果

使用目的

被検者がいる測定室と脳波計本体が離れていて、電極接続箱のケーブルを延長する際に信号を中継することに用いられます。

操作方法または使用方法等

本装置と接続して使用できる機器については、本書の「適用機種」を参照してください。
使用方法等についての詳細は、別途用意されているAE-101Aの取扱説明書を参照してください。（脳波計の操作については、EEG-1000シリーズの取扱説明書を参照してください。）

1. **機器を接続する**
   ・追加保護接地線、等電位化のためのアース線を接続します。
   ・付属の延長ケーブルを本装置と脳波計に接続します。
   ・多チャネル電極接続箱からのケーブルを本装置に接続します。
   ・マーカコードに接続します。
2. **電源を入れる**
   ・各ケーブルの接続を確認します。
   ・本装置に電源コードを接続して、壁面の電源コンセントに差し込みます。本装置のPOWERランプが点灯して、電源が入ります。
   ・脳波計本体の電源を入れます。
   詳細は、AE-101A取扱説明書「電源を入れる」の項を参照してください。
3. **電源を切る**
   検査および各種の操作を終えたら、電源を切ります。
   ・脳波計本体の電源を切ります。
   ・本装置の電源コードを電源コンセントから抜きます。
   詳細は、取扱説明書「電源を切る」の項を参照してください。

使用上の注意

重要な基本的注意

- 被検者に装着したZ電極はアース（大地）または等電位接地端子に接続しないでください。他の機器からの漏れ電流により、被検者が電撃を受けることがあります。
- 脳波測定に関する注意は、脳波計本体の取扱説明書を参照してください。
- 電源コードは必ず、付属品の3ピンプラグ付き電源コードを使用してください。他の電源コードを使用した場合、被検者および操作者が電撃を受けることがあります。

相互作用（併用禁忌・禁止：併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置（一人用／多人数用）	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある

相互作用（併用注意：併用に注意すること）

除細動器

- 除細動を行うとき、CF または BF のマークのないコネクタ部に接続されたトランスデューサや電極は、患者から取り外してください。[放電エネルギで操作者が電撃を受けることがあります。]
- 除細動を行うとき周囲の者は、患者の体の一部および患者に接続されている装置やコード類の金属部分には触れないでください。[放電エネルギにより電撃を受けます。]

電気手術器（電気メス）

- 電気メスと併用する場合は、電気メスの対極板の全面積を適切に装着してください。[電気メスの電流が脳波電極に流れ、電極装着部に熱傷を生じます。詳細は、電気メスの取扱説明書の指示に従ってください。]
- 電気メスを使用する場合は、接触面積の小さい針電極は患者から取り外してください。[電気メスの電流が電極に流れ、熱傷を生じます。]

磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）

- MRI検査を行うときは、本装置に接続されている電極を患者から取り外してください。[誘導起電力により局部的な発熱で患者が熱傷を負うことがあります。MRI検査と併用する場合は、MRI検査用に対策された電極を使用してください。詳細は、MRI装置の取扱説明書の指示に従ってください。]

周辺機器

- 本装置に各種の周辺機器を接続する場合は、必ず当社指定の装置を定められた方法により使用してください。[指定外の機器を接続すると、漏れ電流により患者および操作者が電撃を受けることがあります。また、火災や故障の原因になります。]
- 複数のME機器を併用するときは、機器間に電位差が生じないように等電位接続をしてください。筐体間にわずかでも電位差があると、患者および操作者が電撃を受けることがあります。

貯蔵・保管方法および使用期間等

使用環境条件

温度範囲　10～35 ℃
湿度範囲　30～80 %
気圧範囲　70～106 kPa

保存環境条件

温度範囲　－20～35 ℃
湿度範囲　20～90 %
気圧範囲　70～106 kPa

耐用期間

6年（当社データの自己認証による）

保守・点検に係る事項

装置を正しく使用するために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
詳細は、取扱説明書 7章　トラブル対策・保守の項を参照してください。

項　目	内　　容
外　観	各部の汚れ、さび・傷の有無
	ラベルのはがれ、やぶれの有無
	本装置および周辺機器の 割れやガタつきの有無
電源部	電源コードの破損の有無
	アース線の状態の確認
	ヒューズの容量の確認
	電源電圧の確認
安　全	漏れ電流の確認

包　装

1台単位で梱包

製造販売 日本光電 日本光電工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
(03)5996-8000(代表) Fax(03)5996-8091
製造業者 日本光電富岡株式会社